

# 2005年度 第11回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2006年2月14日(火) 午後7時15分～9時15分  
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室  
出席委員：阿部靖子、飯塚 睦、熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、安岡厚子、山下恭子  
<以上7名、敬称略、あいうえお順>  
事務局：齊藤地域福祉課長、飯塚主事、今林コーディネーター、平田コーディネーター  
丸木係長

## 配布資料

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(1月)
- 資料 2：コーディネート状況等月次報告
- 資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(2月)
- 資料 4：2005年度第10回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
- 資料 5：2006年度西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュール(案)
- 資料 6：事業評価シート作成にあたって(修正案)
- 資料 7：西東京ボランティア・市民活動センター事業評価シート(案)
- 資料 8：2006年度西東京ボランティア・市民活動センター事業計画(案)
- 資料 9：2006年度ボランティア・市民活動経理区分積算資料
- 資料 10：大震災から学ぶ復興へのみちすじ  
災害に備え、ボランティア・市民活動センターは何をするのか!(案)

委員長：少し定刻の開始時間には早いが始めたい。今日の審議事項としては、運営委員会の年間スケジュール、事業評価について、2006年度事業・予算(案)、災害講演会についてとなっている。ではまず、報告事項から行いたい。

## 1. 報 告 事 項

### (1).西東京ボランティア・市民活動センター業務報告について

事務局より、資料1、2、3に基づき1月の業務報告を行うとともに、2月の予定についての説明を行う。

委員長：「街なかサロンにこここ」では、講座を行うことによって参加者が増えたようだ。

事務局：災害講座では地域の各団体に呼びかけて参加者を募った。

委員長：茅野市社会福祉協議会が視察に来る予定になっているが、このように他地域からの視察はよくあるのか。

事務局：年に1～2回ある。

委員長：「街なかサロンにこここ」では、今後も講座を行うのか。

事務局：4月までは講座を開催する予定になっている。

他に質問、意見無く、業務報告を終了する。

## (2).理事会報告

委員長より2月13日(月)に開催された西東京市社会福祉協議理事会の報告がある。

委員長：当センターに関連する事項では、当センターの所有機材等貸出規則(案)について審議、承認され、今後はこの規則にしたがって貸し出しをしていくことになる。  
また、職員給与の変更(案)、4月からの組織改正(案)、補正予算(案)が承認された。  
今回は3月に開催される予定で、事業計画および予算の審議となる。

質問、意見無く理事会報告を終了する。

## (3).その他

### 歳末助け合い運動募金配分金使途計画について

事務局より、歳末助け合い運動募金配分金使途計画の扱いについて報告がある。

事務局：前回検討していただいた歳末助け合い運動募金配分金使途計画だが、事務局で再度検討した結果、2006年同様の35万円の配分要求を行うことにした。使途については変更無く、内容を一部変更し、情報紙2回の発行計画から1回の発行に変更した。また、前回の運営委員会での事務局からの説明で、今年度集めた募金を翌々年度に使用する旨の説明をしたが、翌年度に使用するのが正しく、訂正をしたい。  
委員長：全国共同募金会での今後の募金のあり方の検討に携わっているが、計画してから2年後に募金がもらえるということを変更することを検討しているところである。改革が逐次行われると思うので、運営委員会でも報告していきたい。

他に質問、意見無く歳末助け合い運動募金配分金使途計画の報告を終了する。

## 2.審議事項

### (1).2005年度第10回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

訂正等の意見なく、第10回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録を確定する。

### (2).2006年度西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュールについて

事務局より、資料5に基づき2006年度ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュール修正案が提案される。

委員長：運営委員のことが出たので、新委員の選任状況について報告してほしい。  
事務局：2月20日を目処に結論を出していただくように依頼しているところである。

2006年度の運営委員会年間スケジュールについて異議無く、承認された。

### (3).事業評価について

事務局より、資料6、7に基づき事業評価の修正案の提案がある。

委員長：この評価は、当事者が評価するのか。

事務局：そのように考えている。  
委員長：ただ、担当者だけではなくほかの職員も一緒にということによいか。  
事務局：そのように考えている。  
委員：評価シートでは1点という評価があるが、1点の部分の評価基準から、1点を導き出せるのか。  
委員長：ニーズを把握しないで取り組むことがあるのか、という疑問がある。  
委員：想定できなかったことが起きた時のことを1点としたほうがよいのではないか。  
委員長：整合性の度合いで点数をつけてはどうか。  
委員：検討しなかった場合に1点となっているが、検討しなければ0点ではないのか。  
委員：点数のつけ方として、最高点から減点していくほうがよいのではないか。  
委員：評価対象項目をまとめすぎたのではないだろうか。焦点を絞った形で評価項目を作りなおしてどうか。  
委員：修正案の項目はそのまま残し、その項目の中でさらに小項目をつくってはどうか。  
委員：到達度によって点数をつけてはどうか。  
委員長：ニーズの把握方法は人から把握するという方法だけではない。  
委員：広報の成果を、まとめて最終的にどうだったかという評価にしてはどうか。  
委員長：評価項目を定性表評価と定量評価に分ける必要がある。たとえば広報媒体のどれだけに掲載されたかを見ることは定量でできる。  
委員：みえの評価表でボランティア・市民活動センターの事業を評価したことが過去にあるのか。  
事務局：全体ではない。  
委員：一度、今回作成した評価シートで実施してみてはどうか。そのうえで手直ししたほうがよいのではないか。  
委員：評価を行うにあたっての手引書を作成すればよいのではないか。人の感覚、感じ方はそれぞれ違うので、手引書は必要だと思う。  
事務局：項目を整理しないと評価しにくくなると考えている。今回の提案ではまとめすぎている。  
委員長：8項目は残しながら、細目をつくり、評価表を作り直すことにしてはどうか。

以上の意見が出され、意見を踏まえて事務局で再度検討し、修正案を提出することとなる。

#### (4). 2006年度西東京ボランティア・市民活動センターの事業および予算について

事務局より、資料8、9に基づき、2006年度西東京ボランティア・市民活動センターの事業、予算が提案される。

委員長：広報活動では、対象者を考えて広報の展開をしていく必要がある。若い人、勤労者など地域に根ざしていない人へのアプローチをしていく必要がある。ITを利用した情報発信をしていくことが必要だと思う。  
委員：前の審議事項の評価は、これのすべてをしていくことになるのか。  
事務局：そのように考えている。  
委員：各事業がミッションにしたがってどのような位置づけとなっているのかが見えてこない。  
委員：各事業の目的のようなものがあるとわかりやすいのではないか。  
委員長：事業を行うに当たっての企画書の統一したものをつくってはどうか。  
委員：協働推進講座では、市の職員研修会として義務的なものになるとどうなのだろうか。市職員の自発的な参加がないと目的達成が難しいと思う。講師の力量が問われるのではないか。回想法講座の説明の表現がおかしいのではないか。  
委員長：奉仕活動の義務化への対応として、教員に対してボランティア活動の本質がわかるような働きかけが必要ではないかと思う。  
委員：事業計画における各事業の目的を明確にしてほしい。  
委員長：対外的にも各事業の目的が明確になっていたほうが理解されやすい。  
委員長：予算書については、NPO法人の経理にしたがった表記をしてほしい。また社会福祉法人における予算書の見方の手引き書があれば参考にしたい。  
委員：予算では、メールボックス、ぼらんていあ倶楽部広告料、備品の貸し出しの際の収入について

でも計上するべきではないか。

以上の意見が出され、事業計画書の表記のしかたを一部変更することとし、計画内容については承認される。

#### (5).災害講演会について

資料10に基づき5月20日開催予定の講演会の企画案について事務局から提案がある

委員長：この企画の広報は、市内に限定せずに広域的にしてはどうか。また、対談のパネラーを検討したほうがよいと思う。災害時のシステムづくり専門委員会の委員長のほうがよいのではないか。

委員：西東京市がどのような防災計画をもっているのかを市民に知らせることは必要であると思うが、対談の中でそれをやらなくてもよいと思う。

委員長：人選を慎重にしたほうがよいと思う。市防災課に対談の候補者がいるかどうかも聞いたほうがよいと思う。

委員：西東京市が災害時にどのくらいのことを考えてくれているのか関心がある。そういうことがわかるとよい。

委員長：西東京市職員には細かな防災施策を話してもらうようにしたほうがよい。

委員：この企画の呼びかけのテーマだが、「西東京市はだいじょうぶか」というようなテーマにしてほしい。

他に意見無く、災害講演会の企画案が承認された。

以上をもって、第11回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終了し、散会する。